

昭和30年における一般預金の増加状況

わが国の経済はデフレ政策の滲透と世界の好景気によつて、ますます輸出は増大し、生産は上昇して国内物価の下落に伴つて国民生活は一応安定し、米の大豊作と糟まつて戦後最高の水準にあると思われ、全く文字どおりの数量景気と豊作景気の旋風によつて久しぶりに明るい正月を迎えた。他面金融緩和や政府資金の支払超過、産業資金の返却などによつて金融機関のオーバー、ローンや企業のオーバー、ボロウイングなども漸次解消の一途を辿つている。これらの好景気と貯蓄心の高揚によつて全国における一般預金高は、昨年12月末に5兆2,869億円にのぼり、昨年同期の4兆3,271億円に比べ実に9,598億円(増加率22.2%)も増加している。

本県においても一般預金の増加は著しく、去る9月末には待望の600億ラインを突破し(昨年同期514億)、さ

らに12月末には実に663億3,700万円(29年同期559億7,500万円)の多額にのぼり、これは県民1人当り32,139円に相当することになる。またこの一年間に103億6,200万円(29年12月9億4,600万円増加)したわけで、その増加率は18.5%になり、29年の増加率30.1%に比べ約60%に過ぎなかつた。この増加状況を機関別にみると銀行の43億8,800万円(42.3%)、郵便局の33億5,600万円(32.4%)、生命保険の10億100万円(9.7%)がその大部分であり、農協組関係が急激したことが目立っている。これは豊作景気とはいいながら、米代金の殆どを各農家が農業手形や28年の冷害対策の借金などの返済と農業用品の購入に向けられたものと思われる。なお、金融機関別、月別の一般預金の増加状況は次のとおりである。

(第1表)

全国における金融機関別預金の増加状況
(単位億円)

区 分	30年度 預金高	29年度 預金高	増加額
合 計	52,869	43,271	9,598
銀 行	30,790	25,242	5,548
農 協 組	3,834	3,220	614
相 互 銀 行	3,897	3,436	461
信 用 金 庫 お よ び 組 合	2,825	2,287	538
郵 便 局	7,799	6,336	1,463
生 命 保 険	3,016	2,356	660
そ の 他	708	394	314

(注) 1) この数字は貯蓄増強中央委員会の資料による。
2) 12月分は推計数字である。

(第2表)

本県における金融機関別預金の増加状況
(単位百万円)

区 分	30年 預金高	29年 預金高	増加額
合 計	66,337	55,975	10,362
銀 行	30,176	25,788	4,388
農 協 組	5,072	4,580	492
相 互 銀 行	2,727	1,895	832
信 用 金 庫 お よ び 組 合	4,557	4,379	178
郵 便 局	18,700	15,344	3,356
生 命 保 険	4,912	3,911	1,001
そ の 他	193	78	115

(注) 1. この数字は日本銀行水戸事務所の調査による。

昭和30年間に於ける一般預金の金融機関別、月別増加状況

(単位百万円)

区 分	銀 行		農 協 組		相 互 銀 行		信用金庫及び組合		比較増減
	昭和29年	30 年	29 年	30 年	29 年	30 年	29 年	30 年	
1 月	20,495	26,099	3,128	4,174	3,767	4,500	1,380	1,916	
2 //	20,411	25,880	3,011	3,705	3,820	4,524	1,389	1,907	
3 //	21,045	26,420	2,946	3,138	3,931	4,636	1,417	2,012	
4 //	21,063	25,980	2,647	2,780	3,887	4,574	1,402	1,990	
5 //	21,217	26,442	2,758	2,794	3,930	4,551	1,403	1,984	
6 //	21,576	26,543	2,654	2,790	3,985	4,606	1,457	2,507	
7 //	22,041	27,234	2,899	3,140	4,026	4,641	1,475	2,141	
8 //	22,421	27,427	2,956	3,839	4,088	4,554	1,517	2,202	
9 //	23,638	28,759	3,207	4,199	4,205	4,575	1,586	2,288	
10 //	23,740	28,642	3,710	4,557	4,188	4,501	1,646	2,368	
11 //	24,530	29,309	4,419	4,776	4,249	4,490	1,756	2,451	
12 //	25,788	30,176	4,580	5,072	4,379	4,557	1,895	2,727	
増減比較 両 年	4388	(45.5) (24.3)	492	(7.6) (4.8)	178	(6.9) (1.7)	832	(4.1) (8.0)	

区 分	郵 便 局		生 命 保 険		そ の 他		計		比較増減
	29 年	30 年	29 年	30 年	29 年	30 年	29 年	30 年	
1 月	11,770	15,886	3,159	4,005	49	77	43,712	56,657	12,945
2 //	11,957	16,125	3,234	4,105	38	72	43,860	56,318	12,458
3 //	12,104	16,101	3,226	4,160	53	99	44,722	56,566	11,844
4 //	12,244	16,166	3,262	4,200	37	79	44,542	55,769	11,227
5 //	12,369	16,366	3,324	4,270	44	83	45,045	56,490	11,445
6 //	12,800	16,534	3,388	4,350	45	93	45,915	56,973	11,058
7 //	13,253	16,935	3,453	4,434	57	79	47,204	58,604	11,400
8 //	13,643	17,228	3,520	4,519	63	74	48,208	59,843	11,635
9 //	13,922	17,466	3,596	4,615	54	97	50,208	61,997	11,789
10 //	14,442	17,994	3,666	4,709	72	152	51,464	62,923	11,459
11 //	14,761	18,224	3,830	4,812	75	174	53,620	64,236	10,616
12 //	15,344	18,700	3,911	4,912	78	193	55,975	66,337	10,362
増減比較 両 年	3,356	(28.2) (32.4)	1,001	(7.4) (9.7)	115	(0.3) (1.1)	10,362	(100.0) (100.0)	—

(注) 信用組合には労働金庫を含む。その他は水協組、商工中金

